

令和5年度指定管理者モニタリング評価調書

1 施設状況・事業収支										
施設名称	長泉町ワークプラザ									
所管課：部門名	課名（所属名）	チーム・グループ名			担当					
都市環境部門	産業振興課	にぎわい企画チーム			長倉 周平					
指定管理者名				代表者						
公益社団法人 長泉町シルバー人材センター				理事長 山田 幸一						
指定期間		(年)		料金制度適用						
令和2年4月1日から令和7年3月31日		5年		無料						
法令根拠等	長泉町ワークプラザの設置及び管理等に関する条例及び規則									
施設設置目的	高齢者の就業を促進し、高齢者の能力を生かした活力ある地域社会づくりに寄与する。									
施設概要	設置主体：長泉町 敷地面積（駐車場含む） 1,370.29㎡ 延床面積 342.3㎡									
施設の主な実施事業	臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務に係る就業を希望する高齢者に対する就業機会の確保及び提供、職業紹介事業、またこれらに必要な知識及び技能の付与を目的とした講習									
施設利用状況	利用区分等	予定（計画・目標）	利用実績		対前年比	目標達成率		評価		
	利用者数（人/日）1階	11人	12人		%	109.0909%	%	3		
	利用者数（人/日）2階	13人	4人		%	30.76923%	%			
						%	%			
						%	%			
						%	%			
						%	%			
					%	%				
(特記事項)	・利用者数は、利用状況等報告書の各階利用人数計を利用日数で除し、四捨五入した数									
事業収支 (単位：円)	予算額				実績額				評価	
	項目	金額	項目	金額						
	利用者収入	0	利用者収入	0						
	受託金収入	755,000	受託金収入	755,000						
	経理区分間収入	0	経理区分間収入	0						
	前期末支払資金残高	0	前期末支払資金残高	0						
	計	755,000	計	755,000						
	人件費	0	人件費	0						
	事務費	0	事務費	0						
	電気代	280,000	電気代	313,452						
	ガス代	20,000	ガス代	22,486						
	上下水道代	25,000	上下水道代	26,720						
	夜間警備	264,000	夜間警備	264,000						
	清掃費	166,000	清掃費	281,473						
	その他事業費		その他事業費							
計	755,000	計	908,131							
収支	計	0	計	-153,131						
職員配置	協定時の配置予定			配置実績			評価			
	事務局長 1名	職員 4名	嘱託職員 2名	事務局長 1名	職員 4名	嘱託職員 2名	3			
	施設管理運営に必要な人員が適切に配置されていたか									
協定時の配置予定と同数の配置を行い施設対応の充実を図っている。										

2 事業の実施状況				
区分	目標（協定内容・指定管理者提案）	追加事業、未実施事業及びその理由		評価
町指定事業	ワークプラザの利用に関する業務	特記なし		3
	施設の維持・管理に関する業務			
	その他町長が認める管理業務			
自主事業	・独自事業の開拓（スマホ講習会）			3
	・サークル活動への支援（ウクレレ教室）			
	・各種講座の実施（フラワーアレンジメント、介護予防教室）			
	・ふれあい文化祭の実施			
3 指定管理者業務の実施状況の確認（管理運営全般）				
確認項目	実施状況			評価
利用者の公平性の確保	規則に基づき、使用しようとする日の属する月の2カ月前から使用日の3日前までに、長泉町ワークプラザ使用申請書を提出してもらい、施設利用が重複した場合には双方と協議を行い空いている部屋の利用を促している。			3
4 指定管理者業務の実施状況の確認（個別業務）				
区分	実施内容			評価
施設の維持管理	協定・仕様等の確認	<ul style="list-style-type: none"> 清掃管理 簡易修繕 施設内の巡回 夜間警備業務 消防設備点検 電話消毒 		3
	実施計画検証	<ul style="list-style-type: none"> 清掃業務 簡易修繕 施設内の巡回 夜間警備業務 消防設備点検 電話消毒 定期的に清掃業務を実施し、施設の衛生管理に努めている。30万円未満の修繕は適宜実施している。5年度は事務所内のLED化も行った。日常点検の他、悪天候後の施設巡回は適切に行っている。毎日の夜間警備業務はセコムへ委託し万全を期している。定期点検は専門業者へ委託し年2回実施している。月1度の消毒作業を実施		
サービスの維持向上	協定・仕様等の確認	<ul style="list-style-type: none"> 利用者の利便性の向上 来場者への情報提供 		3
	実施計画検証	利便性の向上 情報提供 パスワード不用のQRコード表示で高齢者にもやさしいWi-Fiの設定方法にしている。施設内の掲示板を常に最新の状態にしている。		
危険管理対策	協定・仕様等の確認	<ul style="list-style-type: none"> 危機管理体制のマニュアルの構築 施設内における人身事故の対応 個人情報の取扱いにおける管理 業務上の瑕疵により生じる損害賠償力の確保。 		3
	実施計画検証	危機管理体制 事故等の対応 個人情報 損害賠償力の確保 危機管理マニュアルの策定及び定期的に訓練実施 事故発生時に対応できる能力を身に付けるため、定期的に応急講習を受講している。 個人情報保護には徹底している。事務所内へは関係者以外立入を禁止している。 業務上の瑕疵による損害に関し、対応できる保険に加入している。		
その他	協定・仕様等の確認	<ul style="list-style-type: none"> 町への定例報告 		3
	実施計画検証	定例報告 施設の利用状況及び施設の運営に要した費用の報告書を作成している。		

モニタリング評価調書

5 利用者評価			
区分	内容		評価
利用者評価	利用者アンケート	実施有	(1) アンケート調査 各講座（スマホ講師養成研修、スマホ講習会、キャリアアップ研修）参加者に対してアンケートを実施した。
		未実施	
	利用者からの要望・苦情	(1) 良好とする評価 ・施設の利用しやすさの評価：利用しやすい96% ・講座（全体）受講の満足度：満足71.8%、やや満足20.5%、やや不満1.3%、無回答6.4% 高齢者対象のスマホ講座において、わかり易くゆっくり説明を行いながら個別指導も実施した。 (2) 苦情・改善等の要望事項	
施設名	主な要望	(対応)	

6 担当課評価				
総合評価	評価区分	評価	総合評価	評価理由
	施設利用状況	3	C	施設の利用状況については、利用者の高齢化が進み、昇降不要な1階部分での会議が増えており2階部分が目標を下回っているが、利用者の拡大に向けてスマホ教室や介護予防教室等会員以外の方も参加可能なセミナーを開催するなど利用促進を図っている。 事業収支については、電気代や清掃費（人件費）高騰の影響により、収支はマイナス153,131円となっている。 施設管理については、定期的な日常点検に加え、階段の手すりを増やしたり踊り場に休憩用の椅子を用意したりするなど、施設の安全管理およびサービス向上の取り組みも行っており、適切な施設管理に努めている。
	事業収支	3		
	職員配置	3		
	事業実施	3		
	管理運営全般	3		
	施設の維持管理	3		
	サービス向上	3		
	危機管理対策	3		
	その他	3		
利用者評価	3			
取り組みに対する指示事項及び改善案等	高齢者の利用が多い施設であることから、安全管理を徹底しながら現状の適切な施設管理を継続して実施するよう指示した。 原材料費の高騰により光熱水費が上がるのはやむを得ないが、引き続き徹底した節電対策を実施するよう指示した。			

【指定管理者自己評価】	
指定管理者自己評価	
(1) これまでの取り組みに対する評価	
I 利用増加への取り組み	
<ul style="list-style-type: none"> ・現施設の利用増加を図るためにはシルバー人材センターの会員拡大が必要と考える。そのために就業拡大や会として啓発事業を進めながら会員増強を図っている。 ・コロナ禍で4年間中止していた「ふれあい文化祭」開催した。内容は、会員の作品展示のほか、ふれあいカフェ、eスポーツ、チャットGPT体験など新しい取り組みを行うことで、会員をはじめ地元上土狩区民や一般への集客を図った。3月10日の一日だけの開催だったため来場者は155人（会員75人、一般80人）と、前回平成31年実施時の265人には及ばないが、一般利用者が前回の118人に比べると、今回は80人と、開催内容に子供のイベント（鉄道模型やeスポーツ、スタンプラリー等）を取り入れたことにより、地元町内会が多く利用して頂いた事が推測される。 	
II コスト削減に対する取り組み	
<ul style="list-style-type: none"> ・施設のLED化を進め（5年度に事務所の蛍光灯7本を新たにLED化）電気代の節約に努めてきた。 ・修理不能となっているエアコンの買い替えは7台の内、4台が設置され経費削減に大きく寄与している。 ・エアコンフィルターの清掃を年2回行い、熱効率を上げている。 ・利用しない部屋、通路の積極的な消灯を図ることで徹底した節電対策を実施している。 	
III その他	
<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度に「県シニア向け消費者教育講師人材養成講座」に当会員等5人が受講して講師資格が得られたため、ワークプラザでの講座開設も可能となる。 ・高齢者が苦手なデジタル化を進め、会員の53.5%がスマホ登録し、LINEお友達登録は51.8%にまでなり、6年3月からLINEの一斉メッセージ配信が可能となったことから、会員や友達登録者に講座情報等をいち早く届けられるようになっている。 ・会員の中からスマホの講師登録者も出ている。 ・会員ボランティアによる、中庭の玉石磨きにより真っ白な庭園に戻り利用者の憩いの場となっている。 ・年末には会員ボランティア（約40人）にも協力いただき、館内大掃除を行い常に環境美化に努めている。 ・インボイス制度・契約方法の見直しなどにより新たな経費負担・事務負担も発生していることから会の運営が非常に厳しい状態になってきていることは大きな課題である。 	
(2) 指定管理者業務実施上の課題	
<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の高齢化が進み、足腰の弱い人等が多くなり、2階への昇降に時間がかかるケースが増えている。階段に手すりを増やして登りやすくしたり、踊り場に椅子を設置して休憩しながら登れるよう工夫したり、職員が誘導したりしているが、一階でも対応できる会議等は1階で行うよう工夫している。 ・今後、施設老朽化等により、大型修繕箇所の発生が懸念される。 ・原油価格、原材料費等物価高騰により電気料・燃料費をはじめとする経常経費支出については、徹底した節減努力をしても非常に厳しい状況にある。 	
(3) 次年度以降の取り組み	
<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の就業環境の変化に伴い、新たな技術習得するためのスマホ教室等、リスキリングをさらに進めていく。 ・新たな契約方法導入により、さらなる会員増強のため、顧客（企業等）拡大の検討をしなければならない。 	